

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.35

“やさしく かしく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和5年1月12日 文責:安生昌弘

◆ 子どもたちは、よく聞いている

冬休みが終わって学校初日の寒い朝のことです。いつものように昇降口の外で登校する子どもたちを迎えていたところ、何人かの子が、私のところに歩み寄って「明けまして、おめでとうございます。」と、あいさつをしてくれました。うれしくて、とても清々しい初日の朝となりました。実は、冬休み前の学校最終日の全校集会で「礼儀正しい冬休みを!」という話をしたのですが、その中で「冬休み後の学校初日に登校途中で会う大人に『新年おめでとう』とあいさつできると良いね。」という話をしました。ですから、その子たちは私の話をよく聞いてくれた上に、それを行動に移してくれたのだと思います。

そして、これには後日談があります。学校初日の全校集会で話をする前に、私は、その日の朝の出来事について話しました。「今朝、おめでとうのあいさつをしてくれた人たちは、きっと交通安全見守りボランティアの方々にも、おめでとうのあいさつをしてくれただろうから素晴らしいことだね」と。すると、2日目の朝に、再びうれしいことが起きました。何人もの子どもたちが、私のところに歩み寄って「明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。」と、あいさつをしてくれたのです。またまた、子どもたちは話をよく聞いているのだなあと、思い、「新年の良いスタートができた」と感じ入りました。



◆ 下校時の交通安全

船引小学校では、朝の登校は班による集団で行っていますが、下校は学年によって放課となる時刻が違うので、個別にせざるを得ません。学級で下校指導をしていますが、開放感からか、時に危険な歩行をしてしまう子がいます。例えば、道路端の縁石の上を歩くとか、横断歩道を走って渡るとかです。見かけた時には、声をかけていただけるとありがたいです。

学校には長年の交通安全懸案事項がありました。わかき学童保育へ下校する1～3年生の安全確保です。1～3年生が同時に下校するときには100名を超える子どもが狭い旭通り(若草学園前の通り)を歩くことになります。昨年からは今年にかけて、関係機関に交通規制などによる安全確保のお願いを重ねてきましたが、残念ながら叶いませんでした。



しかし、地域ボランティア・コーディネーターの佐藤さんの尽力により、平野さんと鈴木さんのお二人が無償ボランティアで安全見守りをしてくださることになりました。見かけた場合は、あいさつをしていただけると幸いです。



学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願ひ、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。